

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 770 号
2025年 8月 1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

2025年アルミニウム缶需要 209億缶の横ばい予測

アルミ缶リサイクル協会はこのほど、2024歴年（1～12月）の飲料用アルミ缶の需要実績と2025歴年の需要予測を発表しました。

2024歴年の国内飲料用アルミ缶需要は、対前年比0.3%減の209.1億缶になるも11年連続で200億缶の大台を維持しました。

2025年の飲料用アルミ缶需要は、前年横ばいの見通しです。酒税改正で増税となったビール類の新ジャ

ンは落ち込んだものの、価格の優位性を維持したRTD（レディ・トゥ・ドリンク）がアルコール向けではカバーしています。

あえてお酒を飲まない「ソバーキュリアス（sober curious）」というライフスタイルも話題になり、健康志向の広がりも相まって、ノンアルコールの市場は拡大が期待されます。

日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦 年		2023年実績	2024年見込み	2025年予測	
液種別 A 国産缶 出荷量	ビール類（発泡酒・新分野含む）	88.0（96.5）	85.1（96.7）	84.0（98.7）	
	ビール 以外の 飲 料	その他のアルコール	51.6（101.6）	54.2（105.0）	55.0（101.5）
		非 アル コ ー ル	67.5（97.0）	67.8（100.4）	68.0（100.3）
	ビール以外の飲料計		119.1（98.9）	122.0（102.4）	123.0（100.8）
	小 計		207.1（97.9）	207.1（100.0）	207.0（100.0）
	（うちボトル缶数量）		21.9（94.4）	21.9（100.0）	21.9（100.0）
B	空 缶 輸 入 量	0.5（83.3）	0.4（80.0）	0.4（100.0）	
C	実 缶 輸 入 量	4.9（114.0）	4.3（87.8）	4.3（100.0）	
D	実 缶 輸 出 量	2.8（233.3）	2.7（96.4）	2.6（96.3）	
E	国内需要量計（A+B+C-D）	209.7（97.4）	209.1（99.7）	209.1（100.0）	

夏 季 休 日
の ご 案 内

まことに勝手ながら下記のように連休とさせていただきますのでご案内を申し上げます。

8月9日（土）より
8月17日（日）まで

2024年度 アルミ缶リサイクル率 99.8%

このほどアルミ缶リサイクル協会は2024年度のアルミ缶のリサイクル率を以下の様に発表しました。

・アルミニウム缶再生利用重量

239,256トン (159.3億缶)

・アルミニウム缶消費重量

①国産アルミニウム缶 311,064トン(207.1億缶)

②輸入アルミニウム缶 5,941トン(4.7億缶)

③輸出アルミニウム缶 4,188トン(2.7億缶)

消費量総計 ①+②-③

312,817トン (209.1億缶)

・再生利用重量

239,256トン (国内) + 72,789トン (輸出)

= 312,045トン (207.8億缶)

・リサイクル率

$\frac{\text{再生利用重量}(312,045 \text{ トン})}{\text{消費重量}(312,817 \text{ トン})} = 99.8\%$

消費重量(312,817 トン)

・国内循環量でのリサイクル率

$\frac{\text{国内再生利用重量}(239,256 \text{ トン})}{\text{消費重量}(312,817 \text{ トン})} = 76.5\%$

消費重量(312,817 トン)

・CAN TO CAN率

国内で再生利用されたUBCの内、アルミ缶材に再生利用された割合。

$\frac{\text{缶材向け重量}(181,226 \text{ トン})}{\text{再生利用重量}(239,256 \text{ トン})} = 75.7\%$

・昨年度との比較

アルミニウム缶国内循環量 - 3.5%

アルミニウム缶輸出量 + 23.6%

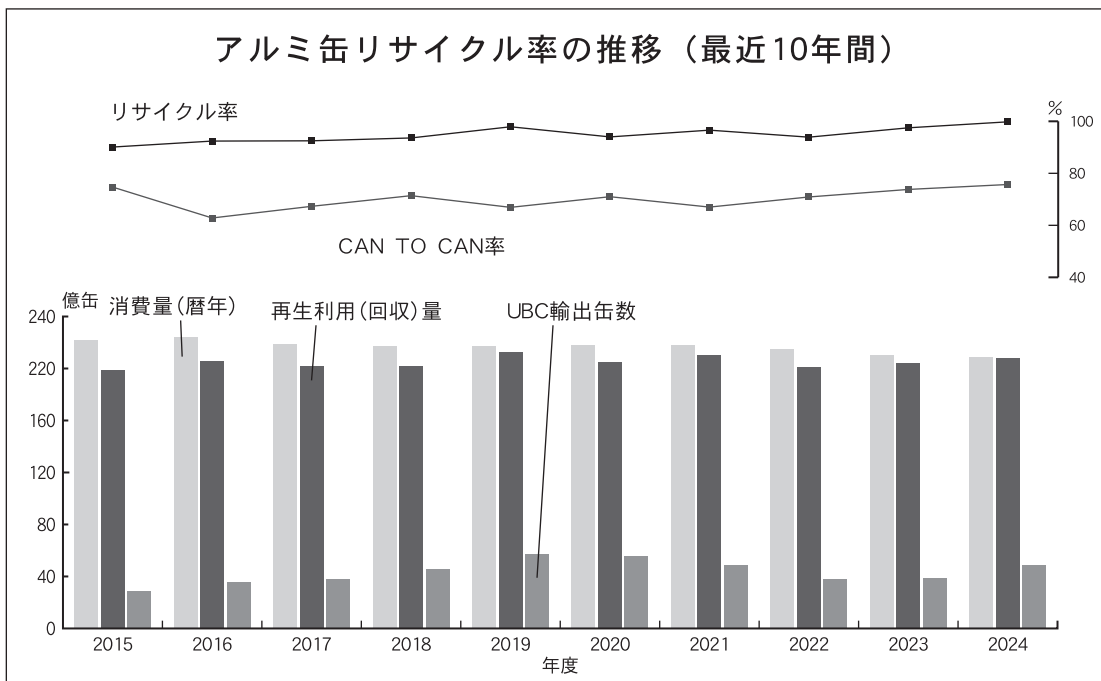
アルミニウム缶消費量 - 0.6%

リサイクル率 + 2.4%

CAN TO CAN率 + 2.6%

「安定的に92%以上のリサイクル率を維持する」

アルミ缶リサイクル協会の目標は9年連続で上回りましたが、使用済アルミ缶 (UBC) の輸出重量が大幅に増加し、国内再生利用重量が減少していることが、リサイクル率を押し上げた原因でもあり、UBCの国内資源循環が十分でないことも示しています。



2015年よりアルミ屑の輸出品目に「アルミ缶のもの」を追加いただいたため、輸出量を把握できるようになりました。

令和6年度 アルミニウムと珪素の輸入

このほど令和6年度（令和6年4月から令和7年3月まで）のアルミニウムと珪素の輸入通関実績が下記のように発表されました。（単位：トン）

輸入数量を品目別に前年度と比べると、

アルミニウム地金	104.9%
合金地金	97.8%
アルミと合金のくず	100.2%
珪素	106.4%

と、合金地金の輸入量は減少しました。

過去、アルミ新地金の輸入量は、オーストラリアとロシアで半分以上を占めていましたが、昨年ロシアは2万1千トンの11位に後退しました。

合金地金の輸入も、過去20万トン以上を依存していたロシアから、中東・アジア・アフリカ諸国と供給先は少しずつ変化しています。

令和6年度アルミと珪素の輸入通関実績

	令和6年度	令和5年度		令和6年度	令和5年度
A. アルミ地金 (99.0以上)			C. アルミとアルミ合金くず		
①オーストラリア	308,115	268,135	①アメリカ	29,195	40,003
②ブラジル	159,407	169,117	②台湾	26,944	17,922
③アラブ首長国	112,456	93,636	③韓国	4,233	4,722
④ニュージーランド	91,312	108,866	④メキシコ	3,592	5,887
⑤南アフリカ	87,025	65,793	⑤イタリア	2,926	3,895
⑥インド	86,132	115,059	⑥中国	2,908	1,243
⑦マレーシア	44,938	34,307	⑦マレーシア	2,685	2,429
⑧サウジアラビア	43,257	40,825	⑧イスラエル	2,637	1,022
⑨オマーン	41,250	13,692	⑨タイ	2,333	978
⑩バーレーン	23,713	29,973	⑩カナダ	2,128	2,479
⑪その他	54,935	64,467	⑪その他	13,998	12,840
⑫合計	1,052,540	1,003,870	⑫合計	93,579	93,420
B. 合金地金			D. 珪素		
①アラブ首長国	275,918	265,189	①中国	131,813	109,495
②中国	119,383	146,242	②ブラジル	11,023	17,650
③マレーシア	114,534	105,543	③ノルウェー	9,282	10,836
④ナイジェリア	88,524	81,971	④ラオス	7,800	4,600
⑤カタール	67,994	60,417	⑤マレーシア	6,457	5,251
⑥カザフスタン	44,625	34,291	⑥オーストラリア	5,067	13,087
⑦ロシア	42,978	52,439	⑦韓国	689	810
⑧オーストラリア	38,595	44,055	⑧フランス	390	260
⑨ニュージーランド	32,601	30,928	⑨アイスランド	20	20
⑩南アフリカ	31,695	21,364	⑩南アフリカ	20	90
⑪その他	212,999	251,281	⑪その他	21	156
⑫合計	1,069,846	1,093,720	⑫合計	172,582	162,255

大提灯まつり

西尾市一色町の諏訪（すわ）神社で、8月23日（土）、24日（日）天下の奇祭「大提灯まつり」が行われます。

その昔、この辺りの海岸に出没した海魔の退散を祈願した大かがり火が起源と伝えられ、12張りの大提灯に大ロソクで点火する時が最高潮。（写真）



社内情報

- ◎夏季休業日を1頁のご案内のように行いますので、ご協力をよろしくお願い致します。
- ◎7月14日に「ソウメン」ランチ給食が行われました。連日の酷暑で食欲がなくなっている中、タイムリーな企画ありがとうございます。次回も期待しています。
- ◎工場建屋の連続鋳造機上部に換気扇を増設しました。大型扇風機もフル稼働です。
- ◎空調服の活用も進みました。効果を期待します。

編集後記

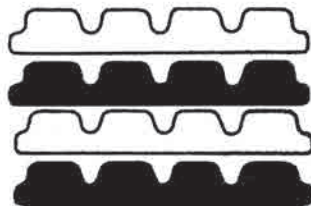
- ▣トランプ米政権による関税措置を巡り、25%の追加関税からトータルで15%に落ち着く。
- ▣対米投資は、5500億ドルの政府系融資枠を新設。
- ▣武器、飛行機を米国に追加発注。農産物の輸入枠増。
- ▣参議院選の自民・公明は過半数割れ。衆議院に続き参議院でも少数与党となりました。
- ▣国民民主、参政党は議席を増やす。分かり易いスローガンとSNSの活用が今後の選挙のポイントか。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

アスカ工業株式会社



〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>